



旅行のすすめ

花王株式会社の小池 亮様よりバトンを受け取りました。帝人株式会社の菅沼と申します。小池さんとお知り合いになったのは数年前ですが、その後色々な場面でお会いする機会があり、大変お世話になっております。小池さんのフットワークの軽さと行動の素早さに、ギリギリにならないと行動しない私は、いつも尊敬しております。そんな小池さんにはいつもおんぶに抱っこであり、今回小池さんからリレーエッセイのお話をいただいた時は、「はい！よろこんで」と引き受けさせていただきました。

私は旅行が大好きで、結構前になりますが「マチュピチュが見たい！」と思い立ち、友人達と3人で南米ペルーに行きました。行く前には3人で何度か会い、どこに行こうか、どのようなルートで行こうか、何を食べようかと、計画を立てました。行く前のこの段階も楽しいもので、あれこれ候補を出し合っては想像を膨らませて心躍らせていました。実際に空港に降り立つと、暑い日差し、陽気な人々、流れてくるラテン音楽など、人生初めての南米の雰囲気にテンションはMaxでした。そんな南米の空気に浮かれていた私達でしたが、ちょっとした出来事があり、手持ちの荷物が持ってきた荷物の10分の1ほどになってしまった時には、さすがに3人で落ち込みました。それも、ペルーに着いて2日目の出来事で、この先6日間くらいあるペルーでの旅行(生活)をどう過ごしたら良いのだろうか、途方にくれました。しかし、そのお陰(?)で、ホテルの方と仲良くなって砂漠での色々なアクティビティに連れて行ってもらったり、現地在住の日本人の方々に夕飯をごちそうになったり、おすすめスポットを教えてもらって旅程を変更したりと、事前に計画していた以上にその後の旅行を満喫することができました。旅行の第一目的であったマチュピチュにも思う存分滞在し、朝もやの中のマチュピチュ、ワイナピチュ山から見下ろしたマチュピチュなど、時刻や場所によって様々な顔を見ることができました。日本に帰ってきた後も、3人で会うと必ずと言っていいほどペルーの話になり、当時を思い返しては爆笑しています。

なぜ、このような話を書かせていただいたかと言いますと、旅行と分析の過程は似ていると思うからです。分析を始める前には計画、すなわち、ストーリー作りが必要で、複数の案を考えてはどの案が最も妥当か選択し、どのような結果になるかを予想して見通しを付けます。この段階が重要で、きちんと分析目的に沿っているか、どんな結果が予想されるか、時には一人で、時にはみんな意見を出し合いストーリーを考えていきます。これは、分析において、とても重要な作業であり、とても楽しい作業でもあります。しかし、事前にどんなに考え、完璧だと思えるストーリーを描けていても、実際に分析を行ってみると予想とは異なる結果が得られることも多々あります。結果によっては、想定したストーリーとは



マチュピチュの風景

全く異なるあまり、途方にくれることもあります。しかし、多くの場合はこの新しい結果により情報が改められ、事前に考えたものよりも具体的に綿密なストーリーへつくり変えることができるようになります。そして最後に、得られた結果とストーリーに矛盾がないか、分析目的に合致している結果か、確認します。考え抜いたストーリーどおりに結果が得られ、分析目的を果たすことができたときには大変な達成感があります。

今回、いつも行っている「分析」と私の好きな「旅行」の意外な共通点に気づいたこともあり、分析に携わっている方なら好きになってくれるかとも思い、このような文章を書かせていただきました。ぜひ、旅行に行ってみてください。因みに、最近私が行ったところは八丈島です。行く直前に思い立ち、船と宿は予約できたもののレンタカーが満車で確保できず、島内は電動自転車移動することになりました。普段運動とは全く無縁の私にとって、電動とはいえ自転車での移動は途中修行かと思う場面もありましたが(やはり旅行も分析も計画(ストーリー作り)が重要です)、海や山がとてきれいでリフレッシュすることができました。

現在私は、日本分析化学会 産業界シンポジウムに参加させていただいており、小池さんとはこのシンポジウムでもお世話になっております。本シンポジウムは、分析化学討論会でのポスター発表などを通じた産業界からの発信や、産学官の交流などを目的に活動しております。そこで、次回も企業の方をと思ひ、三菱ケミカル株式会社の百瀬 陽様をお願いしました。百瀬さんとも多くの場面でお世話になっており、どんな仕事もテキパキとこなしていられるので、いつも頼りっぱなしです。今回も、百瀬さんに任せておけば大丈夫！と思ひ、お願いさせていただきました。百瀬さん、よろしくお願ひ致します。

〔帝人株式会社 菅沼こと〕